

令和元年9月4日

令和元年度第5回アーバンデザインセミナー実績報告書

(1) 開催日時

令和元年8月22日(木) 10時30分～12時

参加人数：15名

(2) テーマ

草津宿本陣・東海道の「いま」と「これから」

～VRの事例を通してまちを考えるワークショップ

(3) 話題提供者

松田游也(立命館大学大学院理工学研究科 修士1回生)

清原真結(草津市役所 都市計画課)

富田由布子(草津市役所 草津宿街道交流館)

(4) 話題の概要

- 松田氏がコーディネートを担当するセミナーとして開催。松田氏のレクチャーの中で、清原氏と富田氏にそれぞれコメントをして頂いた。
- 当セミナーで考えてほしいこと
 - 草津の魅力ってなんだろう？
 - その魅力を伝えるために、自分には何ができるだろう？
- 松田氏の自己紹介
 - 東京出身。大学進学を機に草津市に住み始める。草津歴5年目。
 - 後樂園、池袋、神保町、秋葉原など、地域ごとにイメージ・空気感の違う東京のまちに興味をもつ。
 - 学部時代の講義から、まちづくりに関する知見を深める。



- 松田氏が都市計画課を訪れたエピソード
 - 卒業研究の内容を探るため地域に出ていく。
 - 草津市都市計画課の清原氏を訪れ、現状の課題や東海道統一案内看板のことを知る。

- 清原氏のコメント
 - 東海道統一案内看板から進めるまちづくり。
 - 地域の方が自分たちのまちを誇りに思い、自慢したくなるように、そのツールとしての看板設置を目指している。

- 松田氏がアーバンデザインスクールに参加したエピソード
 - 平成30年度、アーバンデザインスクールに参加。
 - ワークショップでアイデア出しをする中で、VRを使って草津宿の街並みを再現することを着想する。(VR街並み体験)
 - VRを制作するにあたって、草津宿街道交流館の富田氏を訪れ、ジオラマ模型を使用する。

- 富田氏のコメント
 - 草津宿とは、東海道と中山道が分岐・合流する江戸時代の宿場町の一つ。たくさんの人やものが全国から集まってくるにぎやかなまちで、旅の拠点であり、物流の拠点でもあった。
 - 草津宿本陣とは、宿場にある宿の中でも特別な施設で、参勤交代の大名や旗本、公家が主なお客様だった。現在の建物は江戸時代後期のもので、現存する本陣の中では全国でも最大規模。
 - VR街並み体験は、新たな体感・体験として地元の歴史と出会ってもらえるチャンス。

- VR制作に関連した松田氏の卒業研究
 - まちづくりセンターにてVR街並み体験を実施。地域住民の方々に体験してもらい、VR街並み体験が地域愛着の水準に影響を与えることを明らかにする。

- 地域のブランド化
 - 名産品・特産品づくりだけでなく、そこでしか味わえない体験や空気感、そこ

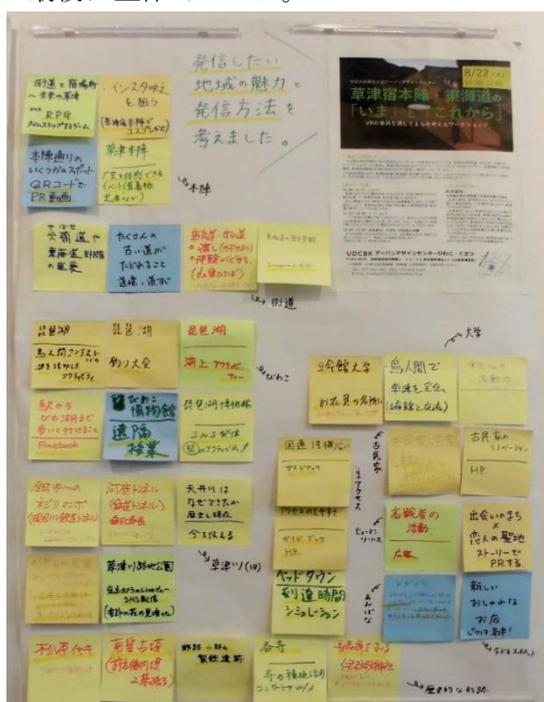


に至るまでのストーリーを明確にすることが大切。

- 滋賀県の特徴
 - 国指定重要文化財数は全国4位であるが、魅力度ランキングでは全国38位。
(地域ブランド調査2018年、ブランド総合研究所より)
 - 既存の地域資源を地域外にもっと宣伝できる余地がある。
 - 文化財が点と点という形で点在しており、つながりあるストーリーとしての発信が弱い。
- まちをブランドとして発信していくには？
 - 1、地域資産の棚卸
 - 2、ブランドコンセプトの明確化
 - 3、体験価値のデザイン

(5) ワークショップ

- 4つの班に分かれて、以下の2点を付箋に書いてもらい班内でシェア。
 - 1、草津の地域資源
 - 2、地域資源の魅力の伝え方
- 最後に全体でシェア。



(6) まとめ

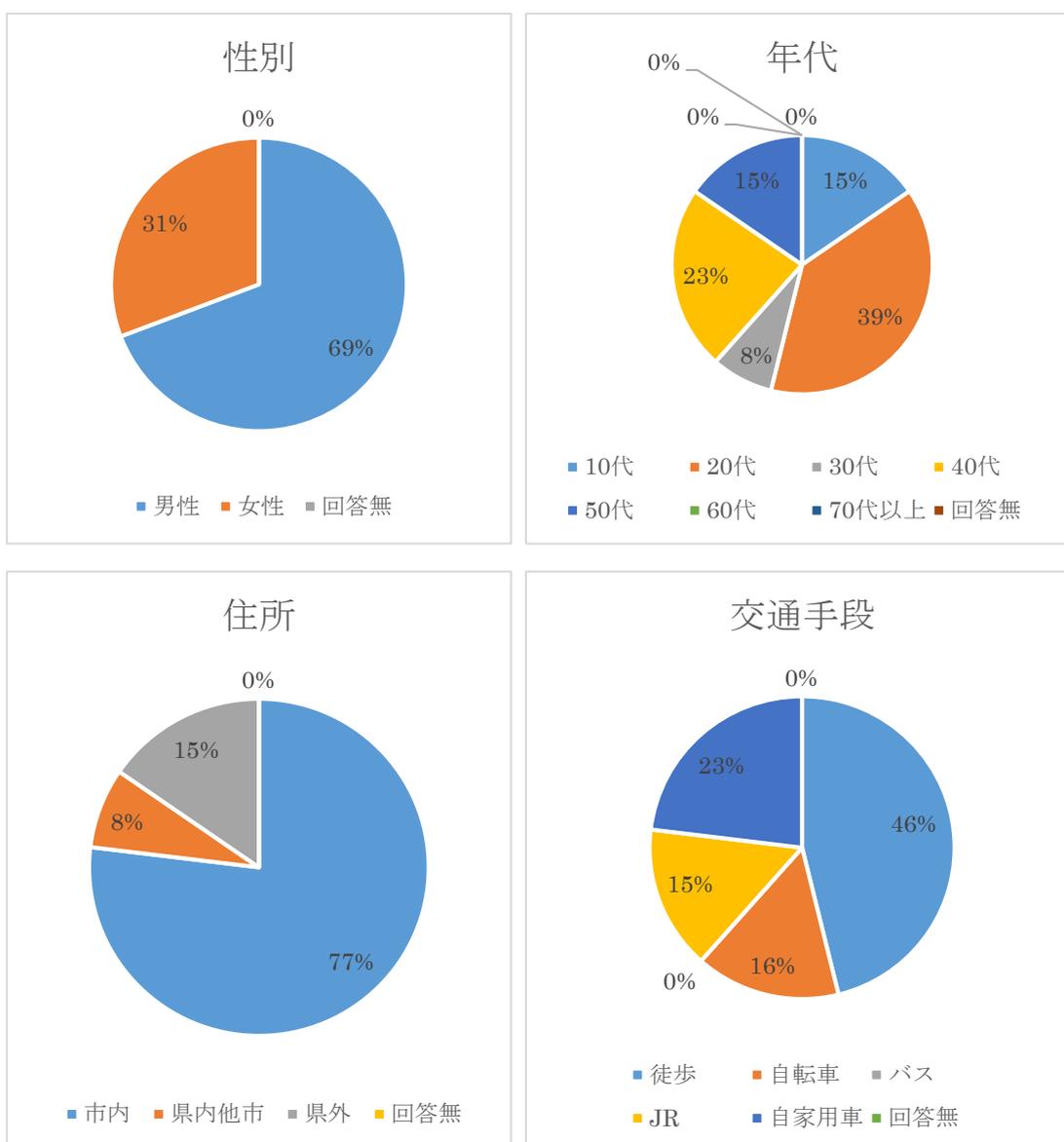
今回のセミナーでは、学生が全体コーディネートを担当するという新しいスタイルでの実施となった。その結果、初めて UDCBK のセミナーに参加するという方も複数おられ、参加者の層が広がった。

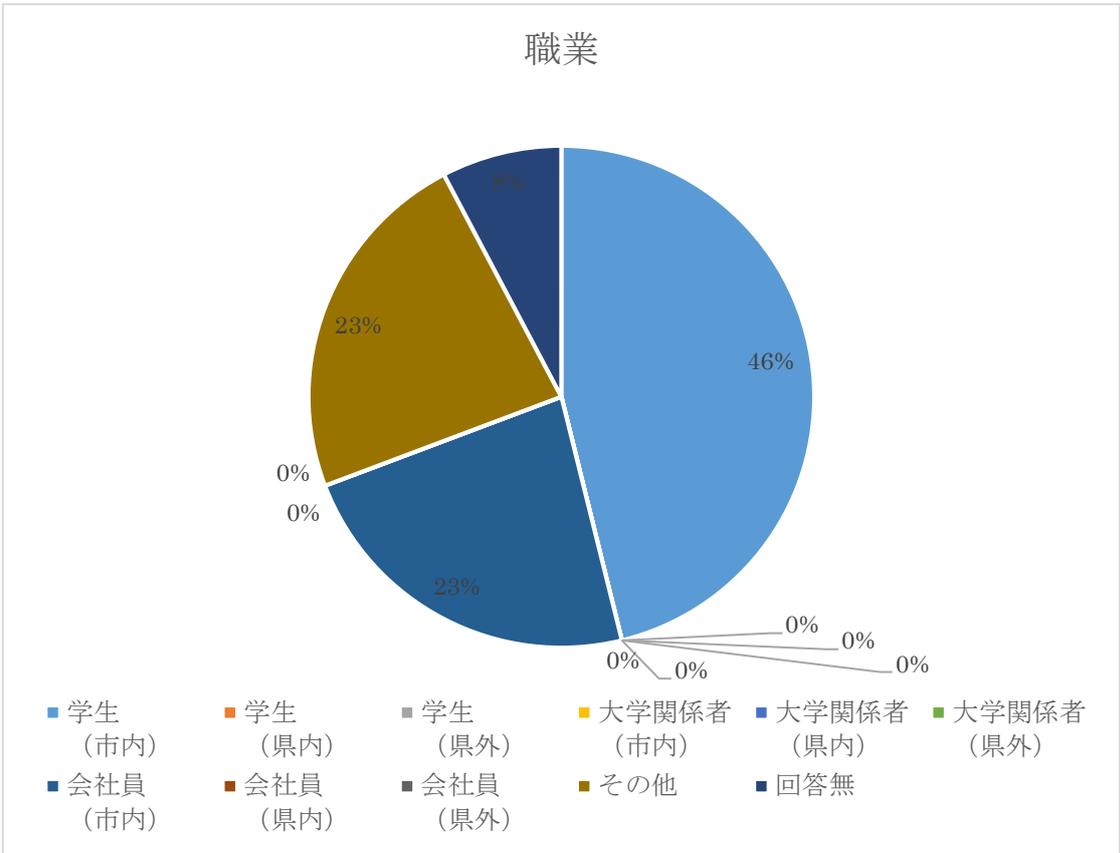
また、セミナー後に自由参加の交流タイムを設定したことで、参加者同士が繋がるきっかけにもなった。

(7) アンケートまとめ

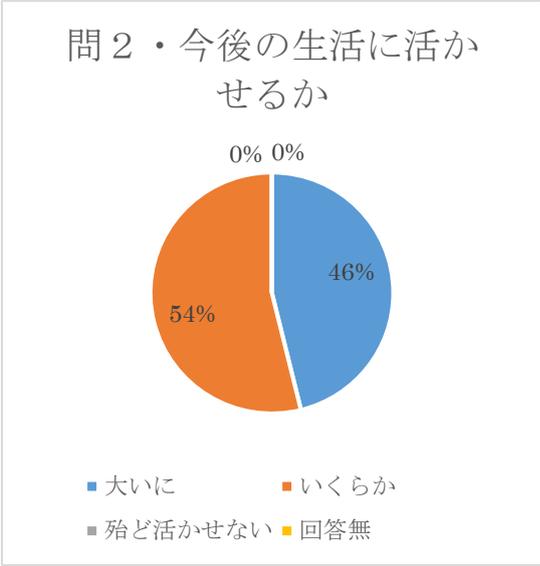
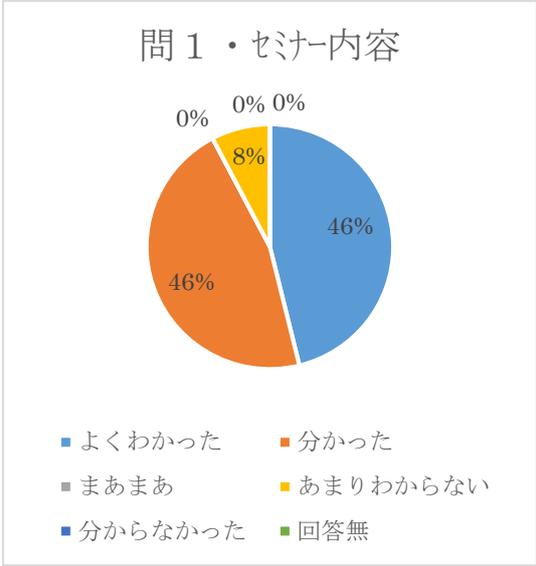
① 参加者属性

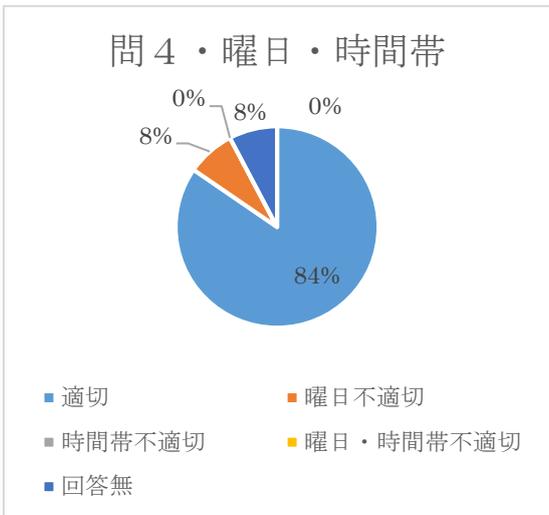
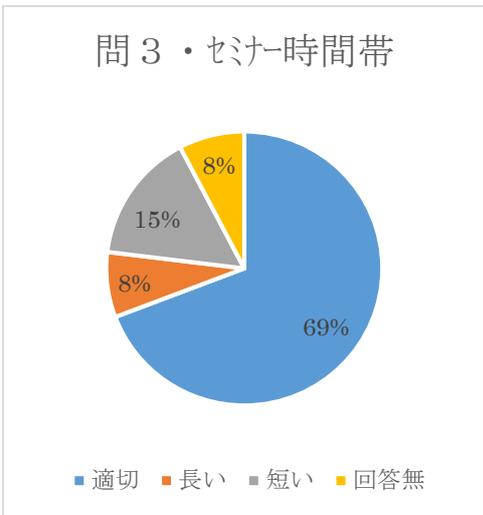
参加者 15 名のうち、アンケートに回答いただいた方は 13 名、回答率は 87% だった。





② 内容について





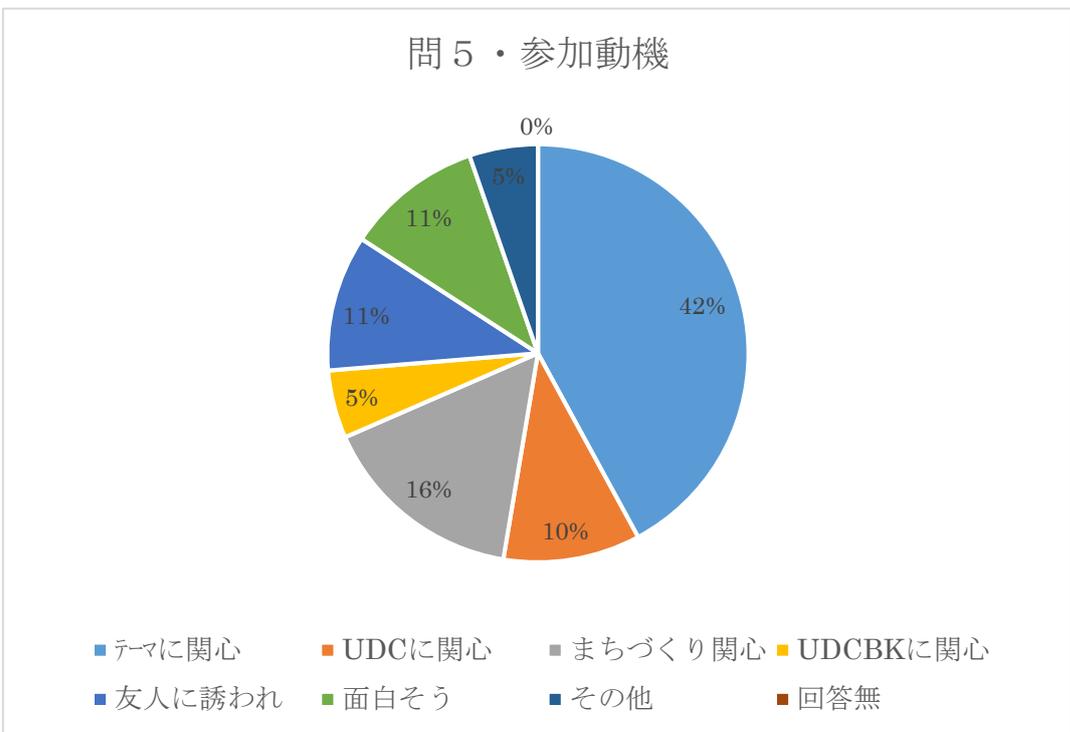
【自由記入欄回答】

問3. 時間はどうか。

・なし

問4. 開催曜日、開催時間は適切でしたか。

・土曜日が適切（50代男性）



【自由記入欄回答】

問5. 今回参加した動機についてお聞かせください。それぞれに関心のあるテーマについて御自由に記載ください。

- ・草津本陣、草津宿の景観、構造上の特徴（20代男性）
- ・草津の魅力をVRを使って知るのはおもしろいと思います（20代男性）
- ・歴史まちづくり（20代男性）
- ・市のマスタープランや町づくり、都市計画（20代男性）

【自由記入欄回答】

問6. 今回、印象に残ったこととその理由をお聞かせください。

- ・VRでは、ジオラマをもとにモデリングをしてあるので、建築上の特徴を逃がしてしまっている部分があった。現存または復元してある建物を実測した上でモデリングすると体験の質がかなり上がるのではないかと（20代男性）
- ・VR体験はおもしろかったです（20代男性）
- ・重要文化財数全国4位というのを初めて知って驚いた。京都・奈良と同じように歴史的な場所として宣伝できるのではないかと思った（20代男性）
- ・VRという、親しみやすい、入りやすいことから問題点につながり市の復興に向かっていけるのでVRはいい手段だと思った（20代男性）
- ・草津の町のフィールドワークの参考にさせていただきます。今後もよろしく願います（50代男性）
- ・VRとリアルの融合を考えていくと、もっとおもしろいことができると思いました（40代女性）
- ・レクチャーが、途中でワークショップになり「今」も「これから」も良くわからないままでした。VR作成されているっていう発表会ですか？（30代女性）
- ・もっとたくさんの人に体感してもらって、さらなる活用法を期待したい（40代女性）